

# 貧酸素水塊速報 (2019年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター  
 神奈川県水産技術センター  
 千葉県農林水産技術会議  
 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター  
 第三管区海上保安本部  
 ○ 東京都環境局  
 (国)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 令和元年10月2日観測結果

一時的に縮小していた貧酸素水塊が再発達し、内湾北部の水深10～20mの海域を中心に、アクアライン付近まで分布しています(図1)。

縦断ラインの鉛直分布をみると、貧酸素水塊の厚みはありません(図2)。規模は直近10年の平均を下回っています(図3)。

水温は表層23～25℃、底層20～23℃です。

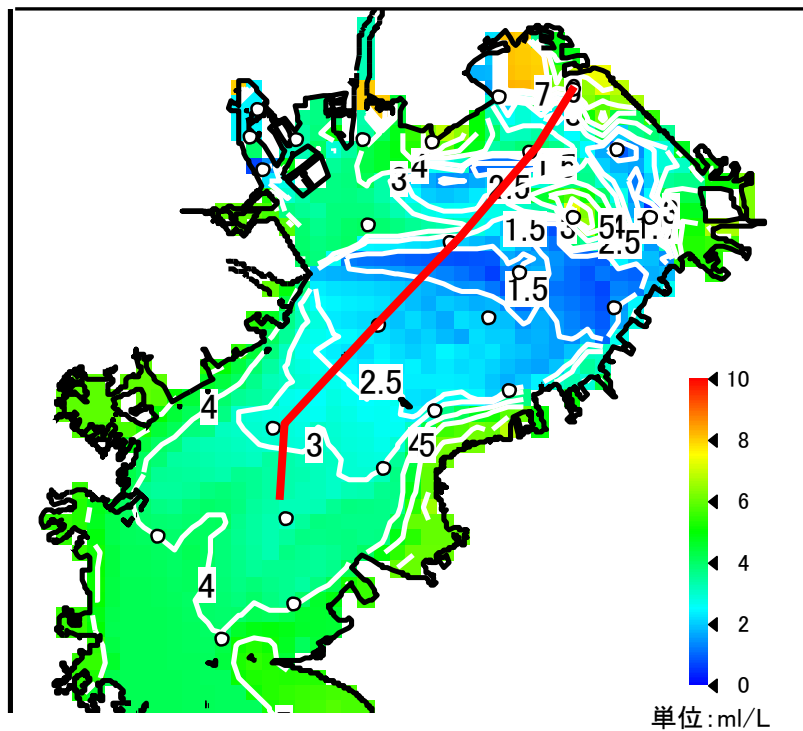


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

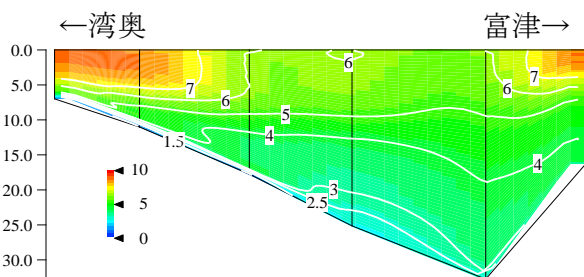


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

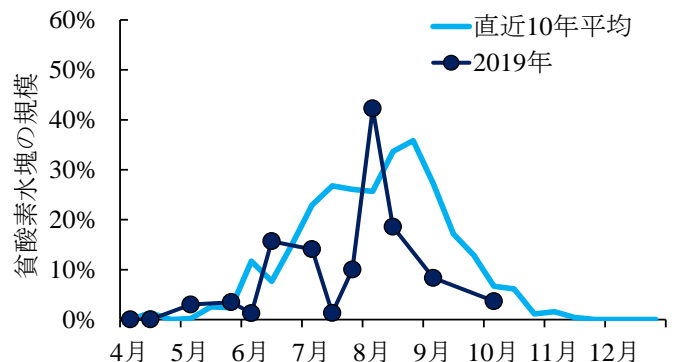


図3 貧酸素水塊の規模

(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)